

人間関係学部・心理臨床学科のマトリクス－学科の学位授与方針に基づく獲得目標と授業科目の対応表

教育課程の獲得目標項目	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
心理学および健康科学領域の専門的知見の理解	臨床心理学を含む複数の心理学の領域とその対象について挙げることができる。 【1】心理学概論 【1】医学一般	心理学および健康科学とその周辺領域で用いられる基礎的な概念、専門用語、関連研究について説明できる。 【1】栄養学 【1】解剖生理学Ⅰ 【2】学習心理学Ⅰ 【2】発達心理学Ⅰ 【2】人格心理学 【2】社会心理学Ⅰ 【2】衛生学 【2】病理学 【2】薬理概論 【2】微生物学	心理学および健康科学とその周辺領域で用いられる概念、専門用語、関連研究について説明できる。 【2】発達心理学Ⅱ 【2】社会心理学Ⅱ 【2】解剖生理学Ⅱ 【2】行動生理学 【3】認知心理学 【3】心理学特講 【3】公衆衛生学 【3】疾病学 【3】健康管理概論	心理学の少なくとも一つの領域についての最新の研究動向について説明できる。 【3】発達心理学演習 【3】行動生理学演習 【3】学習心理学演習 【4】社会心理学演習
臨床領域や社会生活での心理学・臨床心理学の応用	心理学・臨床心理学が応用されている臨床領域や日常的な社会生活の例を挙げることができる。 【1】教育学概論 【1】生理学概論Ⅰ 【1】学校保健 【1】看護概説 【3】情報社会学 【3】比較教育概論	具体的などのような臨床領域や日常的な社会生活において心理学・臨床心理学が応用されているかを理論的に説明できる。 【2】教育心理学 【2】産業組織心理学Ⅰ 【2】産業組織心理学Ⅱ 【2】家族心理学 【2】福祉心理臨床学 【2】高齢者心理学 【3】学校臨床と教育相談 【2】教育原理 【3】発達障害心理学 【3】学習心理学Ⅱ 【3】精神保健Ⅰ 【3】精神保健Ⅱ	心理学・臨床心理学のスキルを体得し、日常的な社会生活などで心理学・臨床心理学の知見を具体的に応用できる。 【2】心理臨床的援助演習 【2】進路指導の理論と方法 【3】教育の方法と技術 【3】健康相談活動 【3】学校臨床演習 【3】産業組織心理学演習	臨床領域や社会生活に関わる心理学・臨床心理学の少なくとも一つの領域についての最新の研究動向について説明できる。 【3】教育心理学演習 【3】臨床心理学演習 【3】医療心理臨床学演習
対人援助の倫理観・人間観の理解	倫理観や人間観の背景にある概念を説明できる。 【1】臨床人間学 【1】社会福祉学Ⅰ 【2】社会学概論 【2】教育社会学	どのような場面で倫理観や人間観が求められるのかを説明できる。 【2】地域福祉論Ⅰ 【2】社会保障論Ⅰ 【2】公的扶助論 【2】福祉行政と福祉計画 【2】保健医療サービス 【2】権利擁護と成年後見制度	心理学・心理臨床において必要な倫理観や人間観を、援助者・被援助者双方の心情や立場を踏まえた上で説明できる。 【2】障害者福祉論 【2】地域福祉論Ⅱ 【2】社会保険論Ⅱ 【2】精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 【3】精神保健Ⅱ	実習教育など応用場面で、心理学・心理臨床において必要な倫理観や人間観に基づく実践ができる。 【3】教育臨床実習 【3】社会産業実習
対人援助の臨床的技術の基礎	対人援助のために対話能力や感受性、自己表現能力が必要なことについて説明できる。 【1】社会福祉学Ⅱ 【3】コミュニケーション論	対人援助のために必要な臨床的技術や対話能力、感受性、自己表現能力について背景の理論を踏まえた上で具体的に説明できる。 【2】臨床心理学Ⅰ 【2】臨床心理学Ⅱ 【2】心理実践職能論 【2】精神保健福祉相談援助の基盤(基礎) 【2】精神保健福祉理論と相談援助の展開Ⅰ 【2】精神保健福祉理論と相談援助の展開Ⅱ 【2】看護学Ⅰ 【3】精神医学Ⅰ 【3】精神医学Ⅱ 【3】精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ 【3】精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ 【3】精神障害者の生活支援システム	対人援助の臨床的技術を学習者同士の体験を通じて実践できる。 【2】看護実習Ⅰ 【2】救急処置Ⅰ 【3】心理検査Ⅰ 【3】心理検査Ⅱ 【3】医療心理臨床学 【3】心理面接実習 【3】心理実践実習 【3】精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ 【3】精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ 【3】精神保健福祉援助演習(基礎) 【3】精神保健福祉援助演習(専門) 【3】精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 【3】精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 【3】看護学Ⅱ 【3】看護実習Ⅱ 【3】救急処置Ⅱ	対人援助の臨床的技術を実習教育など応用場面で体験を通じて実践できる。 【3】教育臨床実習 【3】精神保健福祉援助実習 【3】臨床看護実習(学外) 【3】臨床看護実習指導 【4】精神保健福祉援助実習指導Ⅲ
心理学の研究技法	量的データや質的データの収集・分析方法について説明できる。加えて、データの意味を読み解ける。 【2】心理学測定法 【2】社会調査法 【2】心理学実験Ⅰ 【3】心理学実験Ⅱ	トピックに関連する論文や図書を採ることが出来る。論文や図書から先行研究の知見を整理してまとめることができる。 【3】特殊研究Ⅰ	先行研究を踏まえて、研究の目的や仮説を立てることが出来るようになる。適切な研究方法や分析方法等を選択し適用できる。 【3】心理学研究法 【3】社会調査統計 【4】特殊研究Ⅱ	研究を論文にまとめ、新たな知見を提唱することができる。研究内容を口頭で発表することができる。 【4】特殊研究Ⅲ 【4】卒業論文
心と行動に関する科学的態度	心理学が心や行動に関する科学であることを知っており、根拠の薄い占いや心理ゲームなどと区別できる。 【1】心理学概論	日常における非合理的な思考について統計学の知識を用いて指摘できる。 【2】心理学測定法	日常生活における心理現象や行動について心理学の専門用語で説明できる。 【2】社会心理学Ⅰ 【2】産業組織心理学Ⅰ 【2】産業組織心理学Ⅱ	不思議現象や非科学的ではあるが広く信じられている事象のうち、心理学の視点から科学的に説明できるものについて、心理学の知見をもとに科学的な解釈ができる。 【2】社会心理学Ⅱ 【3】産業組織心理学演習

※【 】は、配当年次である。